

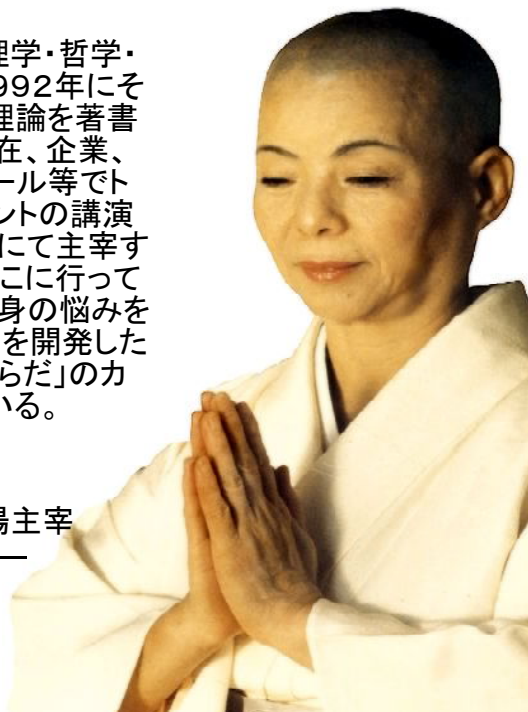
# けやき

第30号(2011年夏号)

発行日:平成23年6月  
発行者:心健導場主宰 天明  
住所:〒167-0052  
杉並区南荻窪2-7-12  
TEL:03-3334-2527

宮崎県出身。深層心理学・哲学・東洋医学を研究し、1992年にその集大成<3と97>の理論を著書「いのち」に著した。現在、企業、団体、カルチャースクール等でトータルヘルスマネジメントの講演活動を行う。東京荻窪にて主宰する「心健導場」では、どこに行っても解消されなかった心身の悩みを持つ方から、自己能力を開発したい方に、「こころ」と「からだ」のカウンセリングを行っている。

天明 てんめい  
心健導場主宰



2011年3月11日14時46分18秒

この時間、皆様はどこで、何をされていたでしょうか。

この一瞬で大きく人生が変わってしまった方もいます。大きなショックを受けてしまった方もいます。

この大震災で、天明が今までお伝えしてきた「いのち」というものを改めて皆様お一人お一人が考えさせられたのではないかと思います。

## 「いのち」をいただくとは

その惨状はもはや申し上げる必要はないと思いますが、その惨状の中にあって、神も仏もないと言っておられる方々がたくさんおられました。神も仏もないとなると、その後に来るのは、己、自分です。

津波がやってきた時、助けに戻って亡くなった方々が沢山いると、テレビ報道されていますので皆さんご存じだと思います。本当はなくさないでいい「いのち」をなくしたのです。

## こんな、とんでもない事態の時は、まずは逃げなさい。 決して戻ってはいけません。

「自分が瞬時に選んだこと、感じたことをそのままおやりなさい」ということです。

この津波で亡くなった方々も地震が起きた瞬間は感じたままに行動して一端は逃げたはずです。

そして、「ああ、おばあちゃんはどうしただろう」、「子供は大丈夫か」、「忘れたものがある」と思って、引き返した方々は亡くなりました。「自分が生きる」という行動を咄嗟に感じてやっているにも関わらず、その後「我」に帰った時に、「おばあちゃんが」「子供が」「忘れ物が」となって戻ってしまった。

「おばあちゃんが」「子供が」「忘れ物が」と考えることは本心でやっていることではありません。

まず自分だけでも逃げようと感じて逃げたこと、それが本心です。言い換えれば、「おばあちゃんが」「子供が」「忘れ物が」と思ったこと自体が、「欲」です。



これを「欲だ」と申し上げていることの意味が分かりますか。

皆様はおばあちゃんや子供を助けることは思いやりだし、親としては当然の行動、人間としても普通の行動であると感じられているかもしれません。

それでは、いざと言う時、「いのち」はいただけないのです。

## 自分の「いのち」は自分でまもるしかありません。

今回の東日本大震災では、こうした酷な現実をまざまざと私たちにみせてくださいました。

高齢の方々が若者たちに助けられて「いのち」をいただき、「もっと助けなければ」と助けに戻ったおおぜいの若者たちが「いのち」をいただけませんでした。

本当に勉強させられました。

## 「いのち」とは

「いのち」がどんなに尊いものであるのか、

こんな時に「いのち」をいただくことがどんなに尊いことなのか、

一回限りの「いのち」の尊さを教わりましたね。

天明はこれまで30年以上、「いのち」「かけがいのないいのち」をお伝えしてきましたが、皆様はこの「いのち」を今までに本当に考えたことがあったでしょうか。

## 「いのち」とは、本当は「すごく厳しく、つらい」ことなのです。

### 自分がそういう大変なことに遭わなければ気づけないことなのです。

天明はこの「いのち」を常々からお伝えしてきました。

この東日本大震災から「いのち」を学んでください。勉強してください。

津波がやってくると分かっていて、車で逃げようとした人がおおぜいいました。歩くよりも車の方が早いだらうと頭で考えて行動した人たちです。その方々は残念ながら、大渋滞にあって「いのち」を亡くされています。途中で車を捨てて逃げた方々は「いのち」をいただけているのです。

「車の方が早いだらう」というのは、「薬に頼る」「宗教に頼る」と同じです。

これは、“3”です。「欲」です。

すぐに「ああ、逃げないと」と、“97”の気づきで咄嗟に行動した人は自分の2本の足を信じて逃げて、「いのち」をいただいています。「車の方が早いだらう」、「この堤防があるから自分は大丈夫だ」と高を括っていた方々は亡くなっています。これは仕方がないことです。自分の「いのち」をそれだけ軽く見ていたからです。

酷な言い方と思われるかもしれませんが、そう言いきれます。事実がそう教えてくれています。

こういう咄嗟の時には、その人の「本質」というものが出て来ます。

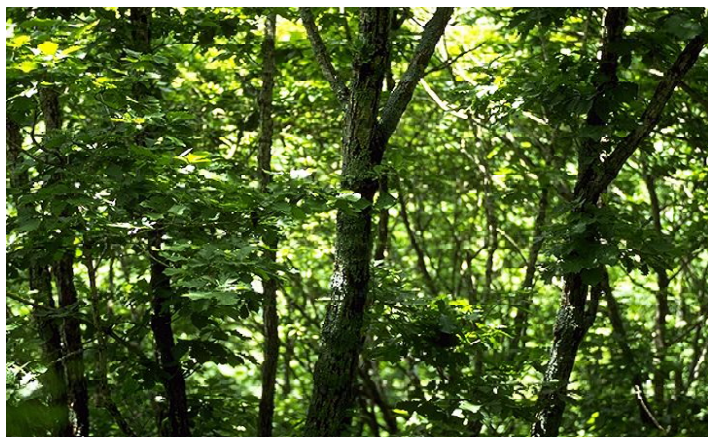
「無欲」の人はまず逃げています。

「あれもこれも持っていこう」と思っていること自体、それだけ行動が遅れるわけですから、逃げ遅れてしまうのです。その差です。

もう一つ、申し上げておきます。

「おばあちゃんが」「子供が」「忘れ物が」と考えた方々、それは善意からだったのですが、思いが善意であっても「いのち」を失ってしまえば、同じことです。

一番は「逃げること」です。





そして、「いのち」をいただいたなら、感謝して生きて、今できることをやることです。

ただなかには、「いのち」をいただきながら、「これが足りない」「これがない」と、「くれない症候群」になっている方もおられます。

誰も助けに来なくても住んでいる方々がみんな協力していきいきとして生きている地域もあれば、これがない、救援物資が届かないと、「くれない症候群」で文句ばかり言っている地域もあります。

同じ被災地でありながら、こうも意識の持ちようで違うものかと思えます。

今のこの状況は、国や自治体や他人が「こうしてくれなかったから」ではありませんよ。

自分の中にある意識の問題ですよ。

「くれない症候群」ではなく、この「いのち」をいただいたことにまずは感謝して手を合わせたら、そこから意識が変わってくるでしょう。

## 国に申し上げたいこと

この東日本大震災は、1000年に一度という規模の天災と起きてはならない原発事故が重なってしまい、まさに未曾有の災害になってしまいました。

この1000年に一度といった未曾有の災害だからこそ、申し上げたいことがあります。

それは、「こんなチャンスは二度とは来ない」ということです。

なぜ、天明はこの大震災をチャンスと言うのでしょうか。

それは、日本の森林を再生する絶好の機会だからです。

ちょうど今の樹木は家などの建築に適した大きさに成長してくれています。そこに職場をつくって、津波で仕事が奪われた方々、農業、酪農を続けたくともできなくなった方々に、森林を再生してよみがえらせるという仕事を新たに作ることです。

これは、被災地の復興にもなることですし、仕事も同時に作ることになります。

農家が農業、漁師が漁業と、震災前の状態に戻りたいとか、戻さねばという思いでいますからなかなか復興が前には進みません。今こそ、発想の転換が必要な時なのです。

他の仕事に転身して新たな道を歩んでいく。そのための仕事づくりが、国、自治体の役割として一番求められていることではないでしょうか。



この大津波で多くの方々が住む家を失ってしまいました。家の土台だけが残されているのをテレビ報道などで見ますと、「なにか自分にできることはないのか」と誰もがそう考えられたと思います。「元の状態に戻してあげたい」。

これが復興だと誰もが思われるでしょうが、それは違います。津波にあった地域にはもう住まないことが一番の復興のスタートです。

「なぜ」と思われるでしょうが、いつまた同じような津波がやってくるかわかりません。

そんな場所に子供や孫たちを住まわせていくのですか。住み続けた土地は忘れがたいでしょうが、今回津波で被害を受けた地域には子孫のためにもう住むべきではありません。そういう場所は国が買い上げるなどして、今後の津波に備えての対策をしていくことです。

1000年に一度の災害なら、その対策も100年単位のビジョンで考えるべきなのです。

そしてこの大震災は「温故知新」ということも学ばせてくださいました。

昔の教えをもう一度、掘り起こして学ぶべきです。

それは、以前の大津波などでの経験をもとに先人達が残してくれた教えを守ったところは、これだけの被害にも関わらず、全く被害を出すことはありませんでした。

「ここより下に家を作るべからず」という先人の教え。

これが「知恵」です。

この知恵を活かした再生がこれからは大事なのです。

食料も水も薬もないなかで、亡くなった方が何人いましたか。

わずかに数人だけでした。特に薬を飲まなくても生きられた方はおおぜいいらっしゃいましたね。

日頃飲んでる薬をみなおす、いいチャンスではありませんか。

自分の中にある治癒力を信じてください。

もう一度言います。「いのち」とは

こういう時だからこそ、言わねばならないことがありますから、もう一度言います。

こういう大震災では、いただける「いのち」といただけない「いのち」があつてしかり。

「欲」を考えている人は淘汰されても仕方ありません。



「いのち」が一番大事だと思った人は、着の身着のまま逃げてきています。いざとなった時は、自分で自分の「いのち」を守ることを考えてください。

“3”と“97”は、世の中の惣(すべて)のはからいの元です。

天明はこれまでこの「本物」を30年以上にわたってお伝えしてきました。

東日本大震災はヒトの意識からみれば、それは天災とか、嫌なことと捉えられるのですが、大自然、地球の意識からみれば、「いい」「悪い」はありません。

自然のはからいだからです。

それは私たちに何かを気付かせるためのはからいだからです。

皆さんはどういう意味があつたと思われていますか。少し考えてみてください。

20世紀の石油戦争がすぎ、21世紀、水戦争が始まりますが、その後にバクテリアの研究が進みますと、医療関係に大変化が起きるでしょう。天明の「97の力(パワー)」が立証される時が来ます。

川沿いに桜の木々が植えられていますね。なぜなのか、ご存知ですか。それは、桜の葉っぱに「殺菌作用」があるからです。水を清める効果がある。これも昔の人の知恵です。

これからいよいよ「バクテリアの時代」が来ます。このバクテリアが身体を飛躍的に健康にしていくことがこれからの研究でわかってきます。バクテリアの中で一番優秀なバクテリアがいるのが、実はこの日本の土地と日本海沿岸です。このバクテリアのおかげで、「ふのり」ができました。これは日本だけのものです。この「ふのり」のおかげで、日本人の黒髪ができ、障子やふすま、掛け軸ができました。日本文化もこのおかげだったのです。この「ふのり」という生物は、陰と陽をあわせもつ、世界でただ一つの食べ物です。これを食べると、陰の人は陽に、陽の人は陰に整えてくれます。だから、ものをくつつける働きもあります。

陰と陽をあわせもつとは、「中庸」です。この「ふのり」を食べていたから、この日本には争い事がなく、皆で仲良くということがこの身体(DNA)の中に植えつけられているのではないのでしょうか。

私は1年半前、検診で肝臓がんと言われ、7cmと4cmとあと小さながんがあり、手術は不可能ということで、抗がん剤をがんに直接カテーテルで流し込む肝動脈塞栓術(かんどうみやくそくせんじゅつ)を受けることになりました。

31年前に乳がんになり、摘出し完治していましたので、がんは2度目になります。術後は一時的にがんは死滅するのですが、2~3ヶ月すると復活し、また新しい細胞がんができ、そのため、2~3ヶ月おきに1週間入院して、抗がん剤を入れなければなりません。

抗がん剤治療の6回目、10月に受けた時には副作用が強く、胸苦しさや吐き気で食欲もなく、起きているのも辛く、寝ていても楽になれずに苦しみました。やっと1ヶ月後に元気になりますと、医者はまた抗がん剤を入れると、入院日まで決めていました。

私は苦しんで長生きするより、元気で1ヶ月生きればいい、と思いました。

そんな時、「僕のおばあちゃんのがんを治すんだよ」と孫の友達が言っていました。

子供は嘘をつかないと思い、天明先生の心健導場をおたずねすることになりました。

1回目の操法でとても楽になり、1人で帰宅することができました。18日後のCT検査にむけて、天明先生は“3回、導場に来て下さい。それまでにがんを治しましょう”と。

そしてとんでもないことを言われました。

“私は医者ではありません。自分で作ったがんは自分で治しなさい”

“そのための手助けと後押しはしてあげます”

確かに自分で作ったがんを誰かに治してもらいたいと思っていた自分に気付きました。天明先生より、ミーオンをお借りして5日間、がんに注熱しました。火の玉のように熱くなり、1秒ずつ押さえては離しを繰り返して、熱をかけました。

“この導場は逃げられない厳しい導場です”の言葉どおり、アッチッチ、アッチッチの繰り返しの苦しい治療でした。

“強烈な反応がある反面、初期なら消滅するのも早い”

この天明先生の言葉がなければ、やめたくなりました。

3日目あたりから2~3秒長く押さえられるようになり、4日目は10秒、5日目は熱さがなくなりました。

天明先生に最後の仕上げをお願いし、CT検査にのぞみましたが、結果は、消えた7cmと4cmのがんの話はしないで、新しく小さながんが3ヶ所出来ているとの話だけしました。

「体調がいい今のうちに3ヶ所やっつけましょう」

と言う医師の抗がん剤の手術はお断りしたものの、私のがんは今日死滅しても明日には新しくできるという事実を知りました。

ミーオンを分けて頂き毎日注熱し、出来ては殺し、出来ては殺しを繰り返しております。

2ヶ月後のCT検査の結果では、7cmと4cmの復活していたがんは完全に石灰化して死滅していましたが、やはり小さながんは出来ているとのことでした。医者はさぞや悪化していると思っていたのですが、そんなに悪くはなっていないことに驚いていました。

“この身体でスキーに行ってくる日下さんを僕は尊敬します。元気になるなら、大いにスキーに、旅行に行って、どんどん元気になってください”と言われ、手術、入院をせずにすみました。

温熱で死滅させるより、細胞がんの出来るのが多かつたらどうしようと、弱気になる時もあります。

天明先生は、

“大丈夫、大丈夫、自分を信じなさい”

がんに手を当てて会話をするのは、がんさんが元気になると、私の身体が弱って住めなくなるのよ。だからおとなしくしてちょうだい。おとなしければ一緒に共存できるでしょう。

今のところ、がんさんは私の言う事を聞いておとなしくしてくれています。

がんになって嘆き悲しむより、がんを打ち勝って前向きに強い気持ちで生きて行くことで、1日が充実し、喜びであり、感謝で毎日を送れます。

お導き下さいました天明先生、ありがとうございました。

それからがんで悩んでいらっしゃる方も、天明先生のご指導のもと、1日も早い快方に向かわれることを願っております。私は3ヶ月でこんなに元気になりました。

ありがとうございました。

## 会員さんの声

おくやみ申し上げます。ごくろうさまでした。

2011年 3月 2日 岡田吉弘(17クラブ)様

## 会員さんの声

小学校入学 **おめでとう！！**

2011年4月 高澤桃子さん

# 天明・活動報告

## 2011年1月～2011年5月

1月 1日 天祖神社 浅草寺 初詣  
 2日 書き初め  
 6日 神田明神初詣・新年会  
 7日 鷺 羽友会新年会  
 8日 パソコン先生来導  
 17日 原稿打ち合わせ(天明会案内)  
 19日 原稿打ち合わせ(天明会案内)  
 20日 手足マッサージ、ペマギヤルポ塾出席  
 21日 プラタナスへ  
 22日 鬼木先生新年会  
 25日 イーマへ  
 29日 時代おくれへ  
 31日 Kサロンへ

(操法) 5日、7日、8日、9日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、18日、19日、21日、23日、25日、26日、27日、29日

(出張操法) 14日板橋、21日板橋、28日板橋、30日豊島病院

2月 1日 山近義幸セミナーへ  
 2日 覚峯先生セミナー(川腰様より招待)  
 3日 天明講演会  
 4日 一金会へ  
 5日 埼玉支部へ(～6日)  
 9日 活学塾へ  
 11日 藤間流夏技師匠の新年会へ  
 17日 手足マッサージ  
 19日 パソコン先生来導  
 20日 宮崎より上京 友人内見物  
 22日 プラタナスにて講演  
 23日 野口健氏の講演会へ  
 26日 南木曾・中津川講演(～27日)

(操法) 1日、2日、4日、5日、8日、9日、10日、12日、13日、15日、16日、18日、19日、21日、23日、24日

(出張操法) 4日板橋、18日森田氏手術 遠隔(輸血なし)、25日板橋、28日南木曾

3月 3日 天明講演会  
 4日 坂木氏来導(パソコン)  
 5日 パソコン先生来導  
 11日 東日本大震災  
 祈り(～31日)

(操法) 2日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、24日、25日、26日

(出張操法) 1日～17日 要氏遠隔  
 4日板橋

4月 1日 東日本大震災  
 祈り(～10日)  
 7日 天明講演会  
 9日 パソコン先生来導  
 14日 宮古島へ ゴミ拾いボランティア(～17日)  
 19日 渡辺幸次郎氏バースデー  
 岡田吉弘氏会社葬  
 20日 江見五育村塾へ  
 21日 手足マッサージ 天明バースデー会  
 25日 アルパ(商標権申請について)  
 26日 プラタナスへ  
 28日 林氏接見  
 29日 箱根湯元へ(～30日)

(操法) 11日、12日、13日、18日、19日、21日、28日

(出張操法) 1日板橋、8日板橋、22日板橋、23日南木曾(～24日)

5月 2日 渡辺幸次郎様宅へ新書本の報告  
 5日 天明講演会  
 7日 パソコン先生来導  
 8日 しがくセミナーへ  
 12日 シローダーラーへ  
 13日 フェレンカへ  
 14日 パソコン先生来導  
 17日 けやき打ち合わせ  
 19日 増富温泉へ  
 杉浦氏療養指導(～21日)  
 25日 歯科へ

(操法) 3日、6日、7日、8日、9日、10日、11日、14日、18日、22日、23日、26日

(出張操法) 6日板橋、9日遠隔(P19.00)  
 10日遠隔(P13.00、P21.00)  
 13日板橋、15日中津川病院へ(～16日)  
 27日江戸川区

## 2011年 天明 講演の会

毎月第1木曜日は「天明講演会」の日です

7月 7日(木) 374回 何のために生きるのか

8月 4日(木) 375回 体と心を癒やす庵を自分の中に持とう

9月 1日(木) 376回 自分に素直に生きる 自分是最強のパートナーだよ

10月 6日(木) 377回 昨日の我は今日の我にあらず

11月 3日(木) 378回 自由とは自らを律して生きる

12月 1日(木) 379回 人を相手とせず 天を相手とせよ

講演終了後は  
 懇親会も行っております。  
 ぜひご参加ください。

会場は、  
 明治記念館  
 です。

### アクセス

- ・JR中央線・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分
- ・地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線  
 【青山一丁目駅】下車(2番出口)、徒歩6分
- ・地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車(A1出口)徒歩6分

18:15受付開始 18:30～20:00終了予定

会場/明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23  
 TEL03-3403-1171